

令和4年度 フィールド研修 受講者募集

往還型の研修を通して、
5つの実践園・校の保育・授業の実際に学ぶ
Withコロナ時代の新たな研修
(オンライン&現地研修)

オンライン開催
全ての保育者対象
参加無料



- メリット1 自園・校にしながら研修に参加できます。
- メリット2 実践園・実践校の保育や授業の様子から学び合えます。
- メリット3 コロナ禍であっても他園・校の先生方と学び合えます。

【各会場の開催日程・テーマ】 幼児教育の質の向上や円滑な園小接続に取り組む「実践園・実践校」

東信会場 東御市立和保育園 テーマ：年齢の枠を越えて風通しのよい保育園づくり	① 8月9日 (火) ② 11月10日 (木)
南信会場 伊那市立上の原保育園 テーマ：子どもが主体的に遊べる保育の充実～子どもも保育士も「あ～楽しかった！また明日も…」につながる保育～	① 7月14日 (木) ② 11月8日 (火)
中信会場 こまくさ幼稚園 テーマ：「やってみたい」「もっとやりたい」を支える保育実践～心を動かす子ども達を支えていくための援助と環境を考えて～	① 7月29日 (金) ② 10月26日 (水)
北信会場 飯綱町立さみずっ子保育園 テーマ：共に育ち合う～願いをもち、かなえていく子どもを育む～	① 8月4日 (木) ② 11月17日 (木)
園小接続会場 松本市立明善小学校・内田保育園・寿東保育園 テーマ：園児・児童の学びを読み解く～幼年期の「遊び」と「学び」の具体的姿から、幼保小接続のあり方を考える～	① 8月3日 (水) ② 11月7日 (月)

研修の進め方

- スタート研修 (6月15日 (水))
自園でチャレンジしたいことの明確化
- ↓
- 第1回フィールド研修 (7月～8月)
実践園・校の保育・授業視聴、意見交換
↓
研修を基に自園・校で実践を行う
取組を保育・授業ドキュメンテーションで記録
- 第2回フィールド研修 (10月～11月)
実践園の保育・授業視聴、自園・校の実践報告
↓
見いだした方向性に沿って実践を重ねる
取組を保育・授業ドキュメンテーションで記録
- リフレクション研修 (1月16日 (月))
一年間の研修を振り返り、自園・校の取組を省察

オンライン研修と現地研修の良さを生かす



申込方法 (締切 5/25)

下記のURL又は二次元コードからお申し込みください。
<https://forms.gle/TXms5DmewWNA6ARJ9>



問合せ先

信州幼児教育支援センター (長野県教育委員会事務局学びの改革支援課内)
電話 026-235-7489 FAX 026-235-7495
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyogaku/20190401youji.html>
mail shinshuyoji@pref.nagano.lg.jp (担当：鈴木)

令和4年度「フィールド研修」募集要項

信州幼児教育支援センター

1 研修の趣旨

本研修は、県内の全ての幼稚園・保育所・認定こども園・認可外保育施設の保育者や小学校、特別支援学校教職員を対象に、質の高い保育・幼児教育を実践する園（以下、「実践園」という。）の保育の実際や、円滑な園小接続の取組を実践する園や小学校（以下、「実践園」「実践校」という。）の保育・授業の実際から学び合うことで、研修を受講する園の質の向上や円滑な園小接続の推進を図るとともに、県内における質の高い幼児教育や円滑な園小接続を実現していくネットワークを育むことを目指す。

2 研修の対象

- ・ 県内全ての幼稚園・保育所・認定こども園・認可外保育施設・地域型保育事業所（公立、私立を問わない）における保育者（幼稚園教諭、保育士、保育教諭等で、役職及び常勤・非常勤を問わない）として、幼児教育に関わる方
- ・ 小学校・特別支援学校教職員、市町村幼児教育担当課及び市町村教育委員会関係者

3 研修のねらい

- ・ 信州幼児教育振興指針（平成31年3月策定）におけるめざす子ども像「笑顔かがやき、夢中になって遊ぶ子ども」の実現に向け、質の高い幼児教育の内容を理解する。
- ・ 質の高い幼児教育に向けた自園の保育や円滑な園小接続の実現に向けた自園・自校の保育・授業の課題を明らかにし、研修に参加する園や学校（以下、「受講園」「受講校」という。）の保育実践力、授業実践力を高める。
- ・ 受講園が自園や自校で保育や授業を行った成果と課題を持ち寄り、意見交換することによって、実践園・実践校が行っている実践事例を、より汎用性のある実践事例に更新し、年度末までに全県へ提供する。

4 留意事項

- (1) オンライン会議の環境を必須とする。（1人1台端末が望ましい。）
- (2) それぞれの園や学校からの参加人数の制限を設けない。例えば、マネジメントを担う主任とクラス担当の2名で参加することで、園内研修の充実を図るなど、**研修効果を高めるため異なる立場の複数での参加**も考えられる。
- (3) 会場により受講者数に偏りがある場合には、人数調整を行う場合がある。
- (4) 継続した受講による研修の成果を考慮し、原則として年間（計4回）を通しての受講とする。

5 研修の進め方（全てオンライン開催）

オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none">・ 本研修のねらいを確認する。・ 保育や授業を参観する様々な視点を知る。
第1回フィールド研修	<ul style="list-style-type: none">・ 実践園や実践校の保育や授業を視聴し、意見の交換を行う。・ 自園や自校でチャレンジしたいことを明確にする。

研修で学んだことを基に実践を行う。
(自園・自校での取り組みをドキュメンテーション等で記録)

第2回フィールド研修	<ul style="list-style-type: none"> ・実践園や実践校の保育や授業を視聴し、意見の交換を行う。 ・自園や自校での実践事例を持ち寄り、意見交換を通して、今後の取組の方向性を見出す。
------------	---

見出した方向性に沿って、実践・展開

リフレクション研修	ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の研修を振り返り、自園や自校での取組を省察する。
-----------	--

6 会場・日程・保育内容

(①…第1回フィールド研修 ②…第2回フィールド研修)

東御市立 和保育園 (東信会場)	①8月9日(火) ②11月10日(木)	テーマ 年齢の枠を越えて風通しのよい保育園づくり
伊那市立 上の原保育園 (南信会場)	①7月14日(木) ②11月8日(火)	テーマ 子どもが主体的に遊べる保育の充実 ～子どもも保育士も「あ～楽しかった！また明日も…」につながる保育～
こまくさ幼稚園 (中信会場)	①7月29日(金) ②10月26日(水)	テーマ 「やってみたい」「もっとやりたい」を支える保育実践～心を動かす子ども達を支えていくための援助と環境を考えて～
飯綱町立 さみずっ子保育園 (北信会場)	①8月4日(木) ②11月17日(木)	テーマ 共に育ち合う ～願いをもち、かなえていく子どもを育む～
松本市立 明善小学校 内田保育園 寿東保育園 (園小接続会場)	①8月3日(水) ②11月7日(月)	テーマ 園児・児童の学びを読み解く ～幼年期の“遊び”と“学び”の具体の姿から、幼保小接続のあり方を考える～

7 申込み・研修受講について

〈申込み方法〉

チラシに記載されている URL 又は二次元コードにて、申込みフォームから行う。

〈申込み期限〉

令和4年5月25日(水)

〈フォローアップ〉

研修成果物として、以下の書類の提出を求める。

【提出物】

ドキュメンテーション、ポートフォリオ、ラーニングストーリー等、日々の記録や実践を、写真等を活用し可視化したもの(研修で学んだことを基に行った実践を記録する)。なお、提出されたドキュメンテーション等は、事例集としてHP上で公開・発信するため、個人情報等の扱い等、十分に留意した上で、提出すること。

【提出期限】 令和4年12月28日(水)

〈その他〉

受講料は無料とする。ただし、オンライン会議に係る通信費、端末等は各所属の負担とする。